

授業改善推進プラン〈家庭〉

西東京市立ひばりが丘中学校

1 指導目標

・健康的な家庭生活を営むために、生活の自立に必要な基礎的な知識と技術を習得させるとともに、生活を創造する姿勢を育成する。

2 平成26年度 1学期における考察と課題

学年	考察	課題
1 学年	授業をまじめに聞き、課題に意欲的に取り組んでいる。	基礎縫いを取り入れた作品制作では、技能のばらつきが出てしまう。
2 学年	食物分野では関心を持ち授業に取り組み、自分の食生活にも生かそうとしている。	調理の技術を習得しようとする意欲は男女とも見られるが技能面で経験の違いが出てしまう。
3 学年	保育分野では幼児の心身の発達について関心を持ち、知識を習得し理解できる生徒が多い。	実際の幼児に対する関心や心身の発達についての実感が乏しい。
全学年	知識への興味・関心は高いが、実際に活用する場になると各自で発展させることが難しい。	実生活に取り入れ生かせるように発展させられるようになる事が課題である。

3 平成26年度 2学期以降への改善のポイント

学年	改善のポイント
1 学年	・小グループ、個別指導により、苦手を克服させられるよう学習支援活動を取り入れていく。
2 学年	・実習時、繰り返し指導し、練習することで改善させられるよう取り組んでいく。
3 学年	・授業始めに毎時絵本の読み聞かせなどをし、擬似体験などを取り入れ自らの幼児期を振り返らせ、実感を高めていく。
全学年	・基本的な課題を多く取り入れ、繰り返しをすることで定着させていく。 ・作品制作では参考となるサンプル・作品紹介をし、個々の考え、工夫する力へつなげていく。

4 評価の工夫

観点	観点の項目	評価内容
生活や技術への関心・意欲・態度	生活や技術に対して関心を持ち意欲的に取り組んでいるか。また、授業や実習時の態度が良好であるかなどを評価する。	・自己評価 ・提出物 ・観察 ・グループでの相互評価 ・その他
生活を工夫し創造する能力	生活をより豊かなものにするために、進んで工夫し、創造する能力が身に付いているかを評価する。	・作業等の観察 ・プリント、ノート等 ・作品 ・自己評価 ・その他
生活の技能	生活に必要な技術・技能が身につけているかを評価する。	・実技 ・観察 ・作品 ・その他
生活や技術についての知識・理解	生活に必要な知識を身に付け理解しているかを評価する。	・小テスト ・定期テスト